

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-4-3 商業の振興
---------	---------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	中心市街地等商業活性化対策事業		
目的	(1) 対象	商店街、商業集積（中小小売事業者）等	
	(2) 意図	商店街・商業集積地の賑わいや商業活動の活性化を促進する。	
事業概要	◆地域商業活性化支援事業 ・空き店舗の活用や共同利用施設整備等によって商店街の活性化を図る活動を支援するため、市町村に対して補助金を交付する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	当補助金の年間利用件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		42.00	42.00	42.00	42.00	
式・定義	年間利用件数		実績値	73.00	73.00	74.00	55.00		
			達成率		173.80	176.20	131.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
				達成率		0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	12,272	
うち一般財源 (千円)	12,272	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成26年度の補助実績は次のとおり
 【実績】松江市30件、出雲市18件、益田市6件、安来市1件（計55件）
 ・また、平成26年度の地域商業人材育成事業の実績は次のとおり
 【実績】松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市（計6箇所）
 ・平成26年度で事業廃止

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・空き店舗活用事業による新規創業支援や、地域の特色を活かした商業活性化の取り組みが進んでおり、商店街のにぎわい創出に繋がっている。
 ・地域商業人材育成事業について、県内の商業集積地における各課題等の現状認識が図られ、また今後の実行計画の策定に繋がった。
 ・平成26年度で事業廃止

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 依然として、商店街など中心市街地の衰退が進んでいる。
 - 補助機関終了後の早期退店事案が散見される。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 人口減少、大型店の進出など
 - 事業計画策定時に、消費者動向や市場環境等の分析が不十分であったと思われるものが見受けられる。
- ③原因を解消するための「課題」
- 「空き店舗を埋める」より「空き店舗を出さない」方向での施策が必要（小売店等持続化）
 - 商工団体の経営指導員が、事業者の計画策定段階からフォローアップに至るまで、適切に事業者との対話・助言等を行う必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・本事業は平成26年度で廃止し、新たに地域商業等支援事業（小売店等持続化支援事業）を実施

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）